

## 個体数の調整

「鳥獣害の被害は全国的な傾向を示しており農林水産省の施策として野生鳥獣の生息分布域が拡大し、農作物被害金額は約二百億円で推移している。これらの被害により営農意欲の減退や不作地の増加をもたらす一因となっている。野生鳥獣による被害の深刻化・広域化に対応するため、農林水産省は平成二十三年度を例にとると地域ぐるみの被害防止活動や侵入防止柵の整備等の鳥獣被害防止対策を総合的に支援するため、鳥獣害防止対策交付金九千五百万円を支援している。

既に、この交付金を活用して塩瀬、出沢地区などでは集落の農地をフェンスで囲いシカ、イノシシの侵入防止柵の整備が行われている。

### 連谷地区の詳細

(平成二十三年十二月現在)

新城市の総面積四百九十九平方kmのうち連谷地区の総面積五百十六㎡(四谷二百十八㎡,連合二百九十八㎡)で戸数および世帯数は四谷五十七戸百六十五名,連合五十九戸,

人口百六十四名,児童数六名の周囲が森林に囲まれた集落である。

### 連谷地区の取り組み

この取組みは、平成十年過ぎ頃までは山野を生活の場としていたイノシシが個体数の拡大、餌不足から農作物や果樹をはじめミミズやサワガニ、クズ(雑草)、タケノコなどの捕食を目的に里地への出没が見られた。



その個体数は年々拡大し、作業道や耕地、傾斜地まで掘り起こし農作物以外の被害も増大した。そこで、無謀極まりないイノシシの行動を阻止するため四谷稲熊芳美 小山泰弘 小山舜二 村雲宣充さん(四名,連合原田武典 古田久夫さん)二名の有志が「わな猟狩猟免許」を取得、有害駆除(イノシシ, サル, シカ)を申請,移動式箱檻(四谷十八基,うち竹檻三基,連合十三基)を設置してイノシシの捕獲に取組んでいる。



捕獲檻設置～獲らにゃあしよないでん～

### 結果

平成二十一年の捕獲頭数は四谷二十三頭(成獣九頭,幼獣十四頭),連合十九頭(成獣五頭,幼獣十四頭)の合計四十二頭であった。

平成二十二年の捕獲頭数は四谷二十六頭(成獣九頭,幼獣十七頭),連合四十六頭(成獣十二頭,幼獣三十

四頭)の合計七十二頭であった。なお四谷,連合で捕獲した個体を雌雄別にみると雌三十八頭,雄三十四頭でやや雌個体が優位であった。

平成二十三年の捕獲頭数は四谷三十七頭(成獣十三頭,幼獣二十四頭),連合十八頭(成獣七頭,幼獣十一頭)の合計五十五頭であった。なお四谷,連合で捕獲した個体を雌雄別にみると雌二十八頭,雄二十七頭でほぼ同数であった。

平成二十二年の雌成獣の捕獲は十三頭,二十三年は八頭であった。一頭あたり年一回の出産で五頭が成長したと仮定すると前者が六十五頭,後者が四十頭,両者で約百頭,年二回の出産でみるとこの二年間で約二百頭の個体数の削減がこの地域で行われたものと思われる。

中山間地に住む地域の住民は環境に恵まれた土地で丹精かけて栽培した農作物のほとんどがイノシシなど野生動物の被害が多発し,生産意欲の減退から耕作放棄地が拡大されるとともに,この地に住む意欲すら失せる現実にある。過去三年間の捕獲実績から個体数の削減は大きな成果をあげているものの「イノシシは山のウジで獲っても取ってもきりがない。」と言われるが有害駆除を積極的に実施。村を守るためにまだまだ挑戦が続く。

## 成果報告会

二月十二日、あいち森と緑づくり税を活用した「環境活動・学習推進事業」成果発表会がウイルあいち大會議室(名古屋市)を会場に事業実施団体の事例発表があった。この事業交付金を受けた保存会からは松下誠・小山舜二が出席した。

## 事例発表

中日森友隊  
へきなん市民環境会議  
矢田・荘内川をきれいにする会  
穂の国の森から始まる家づくりの会  
特定非営利活動法人三河自然素材家づくり研究会  
伊勢・三河湾流域ネットワーク  
特定非営利活動法人ウイル 21 フォーラム  
次世代による生物多様性子供会議実行委員会  
特定非営利活動法人東三河自然観察会  
瀬竹会

成果発表会に参加した約二百人はこの事業の環境保全活動や環境学習に理解を深めるとともに、大きな役割を知るきっかけとなった。

事例発表後、来年度公募の説明があり、保存会も来年度、再来年度の二年間この事業の交付金を受け、連谷地区を「未来へつなげたい、想い」を新たにしたい。

保存会は地域の活性化、地域住民の協働(絆)を主眼に連谷の宝「四谷の千枚田」を柱にこの事業に応募、採択を受けている。



### 過去三年間の活動実績

連谷地区全集落(方瀬・真菰、松下、大林、与良木、大代、身平橋)の市道、県道の生活道路の確保を実施した。

特に、方瀬集落から小学校までの往還道、市道方瀬稲目線、松下集落などの両脇の木々が生茂りほとんど放置状態であり、防犯、冬季凍結など不安要素が高かったが、高所作業車、ダンプカーなどをリースして連谷お助け隊、集落住民、賛同有志、保存会の出役により生活環境の確保がなされた。この事業のおかげで

ややもすると閉塞感のあった集落間の住民の連帯意識(絆)が一層強まった。これも「連谷お助け隊」のふるさとを想う奉仕的活動のおかげと住民の誰しも感謝の念を抱いたことは間違いない。

環境学習においては千枚田を学習の場として「生物多様性を学ぶ」、「稲作体験学習」、「いきもの観察会」等々多岐にわたり実施した。

昨年は事例発表の場を頂いた。本年も「あいち森と緑づくり」事業を活用して地域ぐるみで「明るい村づくり」に邁進、活路を見いだした姿を発表の予定であったが機会なく、ここで感謝を込めて報告とする。  
**つなげようCOP10の成果**



二月二十五日、二十六日の両日、「奥三河自然満喫ツアー」(悠久の大地と人と生きものとのつながり

を感じるエコツアー)と題して主催・愛知県新城設楽山村事務所(環境保全課)企画運営：鳳来寺山自然科学博物館友の会で行われる。コース 桜淵公園▼鳳来寺山自然科学博物館・鳳来寺山▼やまびこの丘(宿泊)▼おしどりの里▼四谷の千枚田▼川売の梅の里

四谷の千枚田では自然観察と棚田米で五平餅づくりが行われる。

### 三河の山里現地ツアー

愛知県(地域振興部)主催で「三河の山里サポーターデスク社会実験事業」の一環として三河の山里を活動や研修の場として活用したい企業・NPO・大学等の参加団体を大募集している。ツアーは三月二日、午前、やまびこの丘を会場に奥三河で活動する四団体の紹介。午後は企業の新入社員研修やボランティアを受け入れている「四谷の千枚田」の現地見学会が行われる。

お問合せ ☎052-232-0022

### 作業道復旧工事

十五号台風で崩落した千枚田入り口と古宿の作業道の災害復旧工事が始まります。関係機関の皆さんの有難いご理解のおかげです。

行 平成二十四年二月十五日

鞍掛山麓千枚田保存会

発 文 責 小山舜二